

八雲町CS連絡だより

第 10 号

発行日:令和 6 年3月15 日

発行元:八雲町コミュニティ・
スクール推進グループ



町内の各コミュニティ・スクール (CS) 運営の充実・
深化、及び連携や情報の共有を図ることを目的として、八
雲町教育委員会では年に2回、「八雲町コミュニティ・ス
クール連絡協議会」を開催しています。

今号では、2月22日(木)に開催された協議会で報告
のあった、各中学校区における取組状況をご紹介します。



▲八雲町CSについて
(八雲町HP)

あなたの地域は？



各中学校区での取組状況

八雲中学校区



(八雲中・八雲小・浜松小)

【令和 5 年度の取組】

- 前年度からの引継ぎを受け、学校運営協議会での熟議を実施。「八中校区で育てていきたい子どもの姿」や「そのために必要な学校と地域の連携とは」について、学校と地域の願いや想いを共有することができた。
- 夏休み学習会や旗の波作戦など、校区でまとまりを持った活動を展開できた。

【令和 6 年度の予定】

- 仕事を持っている委員も会に出席しやすくなるよう、会の開催方法を工夫していく予定。

野田生中学校区



(野田生中・東野小・野田生小・山越小)

【令和 5 年度の取組】

- CS の取組をすべての教職員が共有できるよう「校区 CS 全体集会」を開催。
- 小中連携(小学校間の連携)、小中連携の取組として地域の学習素材を数多く取り入れた活動を展開し、「野田生中学校区 CS だより」において紹介。校区内の各家庭に配布している。

【令和 6 年度の予定】

- 能登半島地震を受けて地域防災の重要性を改めて認識。野田生地域は高台へ避難するにも課題があるため、合同避難訓練等の取組を検討していく。

落部中学校区



(落部中・落部小)

【令和 5 年度の取組】

- 校区 CS として目指す子ども像「ふるさとに愛情と誇りを持つ人」の育成に向け、地域の教育資源を取り込んだ取組を展開。CS だよりの各家庭配布、委員からの声掛けなどを通し、地域住民といっしょに取り組むことができた。

【令和 6 年度の予定】

- 小中9年間を見通した「総合的な学習の時間」において、漁業・酪農などのこの地域ならではの学びを通して、子どもたちの郷土愛をさらに育む予定。「チーム落部」で子どもたちを育ていくためにも、より多くの地域住民を巻き込んでいきたい。

熊石中学校区



(熊石中・熊石小)

【令和 5 年度の取組】

- ウニの加工や海浜清掃、磯遊びなどの地域の良さを知る学び(小学校)、熊石の各事業所における職場体験学習(中学校)など、地域に根差した学習活動に対し、委員からも協力したいという声が寄せられた。

【令和 6 年度の予定】

- 統合前に各校で実施されていた郷土学習(相沼奴や米作り学習等)を改めて取り入れてはどうかなど、来年度に向けた熟議では活発な意見が交わされた。地域の人やものと関わり、地域の良さを知り、地域を愛するような子どもを育てていきたいという声寄せられた。

学校運営協議会って
どんなことをしているの？



熊石中学校区 学校運営協議会レポート

保護者や地域住民、学校教職員などから構成されている「学校運営協議会」。
そこでは実際にどのようなことが行われているのでしょうか？
レポートの最後を飾るのは、熊石中学校区(熊石中学校・熊石小学校)の取組です！

令和5年度第2回学校運営協議会

11月17日(金)18時30分~19時30分(熊石小学校食堂にて)



熊石中学校区の学校運営協議会委員は、
商工会や漁協をはじめとした、地域に根差した商工業
関係者、保育園や女性団体など、**多様な地域人材を
巻き込んで展開**されているのがポイント！



1

(説明)熊石小学校・熊石中学校における地域資源を活用した取組について

熊石の地域資源(人・もの)を活用した取組について、両校から説明がありました。

- ・「熊石に花を」プロジェクト(熊石中×熊石地区青少健)
- ・理科、総合、生活科における「海の生き物観察、磯遊び」など
(熊石小×熊石の海)



▲運動会での「ふるさと熊石」

「いまの子どもたちに、伝統の踊り【ふるさと熊石】を知ってほしい！」
という地域の願いから実現！熊石レディースネットワークの皆さんから、
小学校も中学校も毎年「ふるさと熊石」を教わっています。
(熊石小学校の運動会では、熊石中学校の生徒、レディースネットワーク
の皆さんも加わり、いっしょに踊りました！)

2

(熟議)地域資源の最大活用に向けて

熟議の時間では、「熊石の子どもたちの可能性を最大限引き出すために」をテーマに、地域資源の最大活用に向けて協議されました。
中でも、「**持続可能な取組**」と「**新しく始められそうな取組**」として、
次のような意見が出されました。



持続可能な取組

- **伝統**を伝える「ふるさと熊石」の継続
- **未来につながる**熊中の職場体験学習
- **熊石の良さを実感**するふるさと学習

新しく始められそうな取組

NEW

- 熊石レディースネットワークとの**交流**
- 職場体験学習場所の**拡大**
- **SDGs**につながるふるさと学習



令和5年度全道地学協働活動研究大会

文部科学省では、「コミュニティスクールと地域学校協働活動を一体的に推進すること」を推奨しています。

昨年11月、学校教職員や行政職員、地域と学校の協働に携わっている方を対象に、標記研究大会がオンラインで開催されました。(主催:北海道教育委員会)道内各地で取り組まれている「地学協働」の取組事例を聞く中で、八雲町でも学ぶべき視点が多くありましたのでご紹介します。



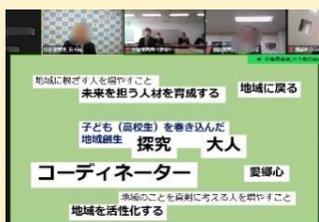
▲大会 PR ポスター

事例発表

トークセッション

「高等学校で取り組む地学協働活動」 (北海道 CLASS プロジェクト推進校・連携校)

「地学協働活動の実際」 (北海道地学協働アドバイザー×北海道 CLASS プロジェクト推進校・連携校)



大会では、「北海道 CLASS プロジェクト」(地域の未来を担う人材の育成を目指し、高校生と大人と一緒に地域課題を解決する協働の仕組みづくり)に関わる道内の研究指定校8校から事例発表があり、現場の実際についてのトークセッションも経て、協働体制の構築や意識醸成に向けた具体的な進め方などについて、参加者で理解を深めました。



子どもたちのヤル気を引き出す工夫

この商品を開発した先に「評価をしてくれる人がいる」という場の設定が、子どもたちに**スイッチを入れた**ように感じます。(実際に、子どもたちが北海道知事に開発商品をプレゼンしに行った。)親でも先生でもない大人から評価してもらえる体験は、子どもたちにとっても大変貴重なものになります。(夕張高校の発表より)

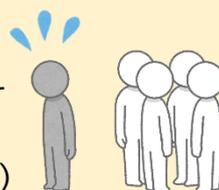
子どもたちの取組(頑張り)を、地域みんなで見守り応援していく視点も大切にしたいですね!



学校・地域に入るハードルをいかに下げるか

「地域の人が校内に立ち入ることの**心理的ハードルをどう下げるか**」は課題です。また、地域の人々が「学校に入りにくい」と思っている以上に、その町に赴任してきた学校の先生も「地域に入っていくづらい」と感じていることがあります。

(本別高校の発表より)



「持続可能」がキーワード

学校の先生や行政職員の異動があっても地学協働の取組が続くよう、「**持続可能**」な連携体制を望む声が多く挙がっていました。そのためには、その地域のヒトやモノをよく知る**地域住民の協力が必要不可欠**です。



この大会の様子は、北海道教育委員会が発行している広報誌「地学協働」(No.16)でも詳しくレポートされています。





Report



町内で実施された、地域と学校が協働した活動について、各中学校区から1事例ずつ紹介♪ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました！

この取組の詳細は
第7号でも特集しています！



夏休み学習会（八雲小学校・浜松小学校）
夏休みは八雲小学校に集合！八雲小学校と浜松小学校の児童が、八雲中学校・八雲高校・地域ボランティアからの学習支援を受けました。



子どもたちは地域の支援を受けて、それぞれの課題に応じて学習を進めました。生活のリズムが崩れることなく、よい夏休みのスタートがきれました！



野田生カーニバルに
みんな集まれ♪

野田生カーニバル（野田生中学校）
生徒が総合学習で取材した地域の飲食店の商品を実際に販売したり、地域の吹奏楽団や中学生によるダンスの発表等があり、大盛り上がりのイベント！

野田生中学校区内の小学校、保育園、地域の皆さんを招き、楽しいひとときを過ごしました。学校を核として地域の一体感が育まれたように感じます。



働くって
どういうこと？

落部地区で職場体験（落部中学校）
中学2年生で実施している職場体験学習を、今年度は八雲地区中心の学習から、落部地区中心の学習に変更しました！



落部小・中学校で行っている「ふるさと学習」の一環です。保育園、菓子店、ガソリンスタンドで学習を実施し、将来の職業選択について考える良い機会となりました。



八雲牛の美味しさを
家族に自慢したよ！

牛肉セミナー（熊石小学校）
料理研究家さんと一緒に八雲牛を調理することを通して、道産牛肉のよさや食の大切さを学びました。

牛の種類などを説明してくださった生産者さんは、「生産した肉をおいしく調理してもらえて、子供たちがたくさん食べてくれてよかった。」と目を細めていました。



バックナンバー

「八雲町CS連協だより」のバックナンバーは、八雲町ホームページからご覧いただけます。

【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ(八雲町教育委員会内)
〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131

八雲町 CS連協だより

